

楠の木

発行
平成28年9月27日
第57号
豊明市立沓掛中学校
PTA広報部

日頃の成果

校長 高御堂 宏



赴任した四月、式や学校新聞などで、生徒たちに身に付けてほしい三つのことを示しました。第一に、

自ら学び、深く考える力。第二に、他に感謝し、他を思いやる心と、道徳的実践力。第三に、強い体と強い心。中学生にふさわしい「知、徳、体」の習得と調和こそ、校訓「自由、創造、和敬、錬磨」の精神を具現化するために必要なことであると思います。

その成果を評価するものとして、学校での授業や生活が挙げられます。どの学年も、授業中、自ら学ぶ姿勢が随所に見られます。学年や学級での諸活動も良好で、生徒たちはとても落ち着いた学校生活を送っています。

また、校外学習、野外活動、修学旅行は日頃の学校生活で培ったことを実践する場として重要です。野外活動と修学旅行は私が同行しましたが、中学生として大変素晴らしい行動がとれたと思います。また、一年生の校外学習も立派であったと報告を受けました。そして、運動部や文化部の活動。特に夏休み中は、吹奏楽コンクールや中体連の大会がありました。保護者の皆様の支えのおかげで、生徒たちは日頃の成果を十分に発揮してくれました。たくさんの方の応援ありがとうございました。また、夏祭りや防災訓練など、ボランティア活動にも意欲的に取り組み、地域の一員として大活躍してくれました。

私は、大会や夏祭りなど、生徒たちの様子や活躍ぶりを見ようと会場に足を運びました。その様子や活躍する姿を見て、校長として、とても誇らしく、大変うれしく感じました。

今後、多くの場面で日頃の成果が発揮できるよう指導にあたります。保護者の皆様のご支援をよろしくお願いします。

「一緒に過ごす時間」

PTA会長 東 敦子

この夏はオリンピックを子供と一緒に楽しみました。観戦しながら話をしたり感動したり、時には国の事情などにも興味をもったり。少し大人になつてきている中学生ならではの感性を親としても感じながら同じことを楽しむことができ、よい時間がもてました。

小さいときは一緒にいることが当たり前だった子供も、成長とともに離れて過ごす時間が増えていきます。成長すればさらに一緒に過ごす時間が少なくなることを考えて、今の時期に一緒に楽しめることを楽しもうと思う近頃です。多くを語らなくても一緒に時間を過ごすことで親の姿を見せることもできると思います。

子供は大人の言動をよくみています。交通ルール、携帯電話の使い方、生活リズムなど、子供の悪いお手本にならないような生活を大人として、していかねければと思います。子供たちが、大人になる、社会にでる、って楽しそうだなと思うような環境づくりをしていけたらと思います。

今年のPTA活動を通じ、沓中生の活躍を耳にする機会が多く、とても嬉しく誇らしく思います。先生方のご指導、保護者の皆様のサポートに感謝する次第です。今後もPTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

文化祭文化的事業 パントマイム

「マイムワンダーランド」

10月26日 13:25~15:10
沓中体育館 ぜひご参加ください



前期PTA活動報告

4月21日	平成28年度PTA総会	7月(地区別)	街頭指導
5月9日	豊明市小中学校PTA連絡協議会総会	7月9日~	支所・愛日大会応援
5月13日	携帯安全教室	8月(地区別)	街頭指導
5月14日	第1回PTA役員会・委員会、部会	8月25日	市PTA連教育講演会
5月25日	学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク活用訓練	9月3日	愛知地区「母と女性教師の会」
6月11日	愛知地区教育対話集会	9月10日	第3回PTA役員会・委員会
6月15日~17日	第1回PTA挨拶運動	9月21日(予備日23日)	体育大会への協力
6月23日	第1回PTA合同下校指導	9月30日	校区内清掃活動への協力
6月25日	第2回PTA役員会・委員会	9月末	PTA新聞「楠の木」発行

○サッカー部

生田 通江

七月十六日(土) 日進総合運動公園
一回戦 対栄中 1-0で勝利。何度
もチャンスを作るもな
かなかゴールを割れず、
0-0のまま入った後
半戦。ついに念願のゴ
ール!! 決まった瞬間、
喜びを分かち合う子
供達の姿に胸が熱く
なりました。二回戦
対春木中 0-2で惜
敗。強豪相手にピンチ
をしのぎ、果敢に攻め
上がったものの、
二試合目の疲れが出
始めた後半で相手に
得点を許してしま
いました。それでも最後
まであきらめずボー
ルを追いつづける選
手達、結果は負けてし
まいましたが、一人一
人がとても輝いてみ
えました。残念ながら愛
日大会へは進めませ
んでしたが、サッカー部
の仲間と過ごした日々は彼らの宝物に
なることでしょう。素晴らしい試合を
見せてくれた選手達、そして試合に出
ることが叶わなくても選手たちを応援
しサポートしてくれた仲間、ここまで
ご指導いただいた先生方、すべてに感
謝します。

夏の大会

大応援レポート

○男子バスケット部

村山 幸代

試合前の練習はリラックスしていた
ように見えた選手も緊張と歓声の中、
ジャンプボールで試合開始。
一試合目、立ち上がりが少し悪かっ
たのですが、後半からは自分たちのプ
レイで無事に勝利。二試合目、最初から
最後まで接戦。一つのミスさえ許され
ない状況の中、僅差で勝利し、愛日への
切符を勝ち取りました。
愛日では、残念ながら一回戦敗退と
いう結果に終わりましたが、保護者の
方々と仲間たちの大きな声援を受け諦
めず、一つのボー
ルを追いかけて懸命
にコート走る選
手に感動しまし
た。



○女子バスケット部

須山 江利子

沓中女バス籠娘たちの支所大会が終
わりました。三年生七名と後輩たちが
笑顔で望んだ第一試合、残念ながら惜
敗でした。結果は明白、シュート決定率
でした。でも最後まで籠娘たちは諦め
ませんでした。公正な審判と校長先生
からの一際大きな声援を受けて、笑顔
でそしてさわやかな試合をやり遂げま
した。

前田 智子

男子決勝を観に行きました。沓掛対
栄でした。接戦で観ている側も力が入
りました。沓掛の方が人数は少なかっ
たけど、ベンチや応援席からはとても
大きな応援の声が聞こえ、選手も応援
の声に答えているように感じました。
結果は負けてしまいましたが、選手と
応援が一体となり良い試合だと思いま
した。

楠本 郁子

入部当初から少人数で新人戦にも出
られるかどうかのところから始まった
バスケット部。常に人数に悩まされてき
たけれど、良き先生、後輩たちに恵まれ3
年生三人しかいない沓中バスケット部が愛
日大会に出場することができました。
今までここに努力し、頑張ってきた成
果だと思えます。支所大会で勝った時、
愛日大会で負けた時、共に泣きました。
三年間の集大成を見ることができ、忘
れられない感動の夏になりました。三
年間お疲れ様でした。

○男子ソフトテニス部

山崎 美紀子

真っ黒に日焼けしながら、3年生は
燃え尽きようと一生懸命に練習を重ね
てきました。団体戦・個人戦ともに勝ち
進むことは出来ませんでした。が、プレ
ッシャーに負け
ないよう、お互い
を励まし合い、と
ても良い試合だ
ったと思います。
猛暑の中、生徒と
共に頑張り続け
てくださった先
生やコーチに感
謝です。



雨が降り大会が一日延期になってし
まいましたが、みんなが一生懸命頑張
って、団体戦は、一勝出来ました。
暑い日も、寒い日も、風の強い日も、み

岡本 金代



んな頑張って練習してきたからです。二回戦では負けてしまいました。一年生二年生も大きな声で応援していました。これからは三年生を見習って後輩たちが頑張って欲しいです。

山田 雅子

我が息子は、運動が得意な方ではないですが、ソフトテニス部員として三年間汗を流してきました。彼なりに頑張ってきたとは思いますが最後の試合のメンバーまでは残れませんでした。そんなメンバーは他にもいて悔しさもあるだろうと思います。しかし、仲間の最後の試合。好プレーにガッツポーズをする選手と一緒に、自分のことのように喜ぶ仲間達。思うような結果は残せませんでした。メンバーみんなが、そして私自身もプレーしている気分で、一喜一憂しながらの応援でした。テニスは個人競技だと思っていました。部員みんながひとつになつて応援している姿を見て、息子は『仲間との強い絆』も得ることができた三年間だったのでは？と感じ、うれしく思いました。



三浦 裕美子

絶対に皆で愛日大会に行きたい！と選手全員が思っていたようなので、ペア同士は勿論の事、他の選手達も大声で応援、声掛け、アドバイスをし合っていました。皆、真剣でチームがとても良くとまっていた。選手でない部員たちも練習した応援を一生懸命大声で行っていました。二年生部員たちは、来年は自分達が頑張るんだという気持ちで応援していました。一回戦は勝ち進み、次の試合で惜しくも負けました。部員一同が皆一体となつて、一生懸命にそれぞれの役割を果たしていたので、とても良い大会だったと思います。



白井 満美子

天候が関係する部なので、一日延期となり、気持ちの高まりが収まってしまいかと心配でしたが、選手の子たちは大きな声を出し、それぞれペアの同士、息の合ったプレーをしていて感動しました。残念ながら負けましたが出し切れたことと思います。自信を持ってこれから成長していつてもらえると嬉しいですね。

〇女子ソフトテニス部

奥野 智巳

七月二十三日、瀬戸市民公園にて愛日大会が開催されました。当日は曇りでしたが選手は熱い闘志にみなぎっていました。一回戦の天神中に見事3-0で勝利しました。二回戦の品野中には残念ながら1-2で負けてしまいました。試合後はみんな一回り成長したい顔をしており三年生にとつて最後の大会が愛日とあって、とてもいい経験と思い出になったと思います。

塩谷 知香子

支所大会団体戦。各学年二十名近くの部員の中、大会出場メンバーとして登録できるのは四ペア計八名。部員全員の期待を背負って挑む大会である。団体戦は三ペア中二ペアが勝利した方の勝ち。一ペアが負けてしまっても他二ペアが勝利してくれたら勝ち進んでいける。真にチームプレーである。沓中は一回戦、二回戦ともにファイナルゲームにもつれ込む大接戦のすえの勝利!! 応援にも熱が入った。毎試合、選手たちの気迫が感じられ、試合目から目頭が熱くなる。沓中は決勝戦まで勝ち進み最後に惜しくも負けてしまったが堂々の準優勝!! 愛日大会の切符を手に入れ



〇野球部

福田 宣子

た。当日は二年前に同じ沓中テニス部を卒業した現高二の娘と当時の仲間が応援に駆けつけていた。愛日大会への切符を手に入れた瞬間、涙を流して喜んでいました。自分たちが手に入れることができなかった切符を目の前で手にしている後輩たちの姿に涙していた。先輩が後輩たちの勝利に涙する。そんな光景を見て、また目頭が熱くなった。

〇女子ソフトボール部

西川 千里

試合直前にやんだ雨のおかげでグラウンドの状態は、選手にとつて絶好のプレー日和。しかし、支所大会と言う独特の空気は、特別なものがあり選手み

んなの緊張感が応援席にも伝わってきました。選手みんな一丸となり、好プレー続出。一人がエラーをしたら、それをカバーして、お互いを支え合うすごく良いチーム。試合結果は、春木中に勝ち、日進中に負けましたが、やりきった選手の姿、そして、後輩が涙していた光景は心打たれました。勝負だけでは無い沢山の思い出は、忘れる事なく大事な宝物です。親として、夢中で応援する事が出来て楽しかったです。三年間ご指導下さった先生

方、コーチには、本当に感謝しております。ありがとうございます。ありがとうございました。



〇男子・女子卓球部

尾崎 英子

中学校生活二年数ヶ月間の練習の成果を発揮できる子供達にとって大切な試合、団体戦・個人戦が、二日間に渡って行われました。「精神を集中して物事に取り組めば、どんな難しいことでもできないことはない」を意味する「精神一到」と背中に刻まれた部活Tシャツの文字通り、小さなピンポン球へ集中し続ける忍耐力を習得する為に、部員それぞれが日々努力を積み重ねて来ました。結果、団体戦・個人戦共に県大会出場と言う素晴らしい成績を収めて

くれました。部活動で習得した経験が自信となり、これから先の試練もくじける事なく乗り越えて行けると思えます。今まで一緒に頑張ってきた先生、先輩、後輩、そして仲間の方々に感謝致します。ありがとうございました。



春日井 希美

手に汗握ってその瞬間を見守ってました。愛日大会で瀬戸市立品野中学校との団体戦決勝。これまでの対戦成績から勝率は五分五分。この決勝戦を制した学校のみが県大会への切符を得ることができた一番で、見事優勝を飾ってくれました。優勝した瞬間はチームみんながとても輝いていて、その姿に感動し目頭が熱くなりました。この夏のかげがえのない経験を忘れずにそれぞれの道へ進んでいってほしいと思います。



〇剣道部

奥理恵

平成二十八年七月十七日、剣道部の支所大会は東郷町体育館で行われました。団体戦、個人戦共に愛日大会に進むことは出来ませんでした。各自白熱した試合でした。団体男子は日進中学校と日進東中

学校と対戦し、二敗。団体女子は日進西中学校、長久手北中学校と対戦し、一勝一敗で決勝トーナメントに進出。決勝トーナメントでは日進中学校と対戦しましたが、力及ばず敗退となりました。三年生はこれで引退となります。後輩達には今までの練習の成果を見せられた試合だったと思います。



牧野 実希子

七月十七日 日曜日 東郷町総合体育館で剣道支所大会が開催され、各団体・個人とも、選りすぐられた剣士が会し、関係者の熱い応援も手伝い、各所で熱戦が繰り広げられた。沓掛中学は、男子団体は惜しくも予選敗退となったが、女子は決勝リーグに勝ち進み、個人もあと一步のところまで愛日大会進出するまでに至った。熱心な応援の喧騒の中の、相対した真剣な眼差し同士が生む静寂と、気迫・技術のぶつかり合いが、この夏の貴重な精神修練の場となつて、若き剣豪たちの、これから



の生きる糧の一助になりま

〇陸上部

三宅 幸子

愛日大会当日は、連日の暑さが嘘のように過ごしやすい天気で、走るのにも応援するにも絶好のコンディションでした。

毎日、練習を頑張ってきた子供達。結果は、くやしい思いをした子、自己ベストを出した子、

県大会の出場を決めた子といろいろでしたが、その練習の成果を出し切っていました。それぞれの種目で、選手が出る時に応援の子供達が声をかけあつて前にいき、大きな声で声援を送る姿がとても印象的でした。



〇女子バレーボール部

勝山 香織

三年間の集大成として挑んだ最後の大会。

強烈なサーブや強打のスパイク、必死でボールを追う姿を見て、三年間の成長を感じました。

長いラリーが続いた時は手に汗を握り、スパイクが決まった時は歓喜の声をあげ、一喜一憂しました。結果はリ

グ戦敗退でしたが、苦しい練習に耐えたバレー漬けの三年間を無駄にしないよう、背中の「ど根性」の文字を忘れずに、これからも突き進んでいってほしいと思います。

三浦 知美
たくさんさんの応援の中コートに入って行った選手たち。

緊張していたのか体が思うように動けず相手のペースにのまれていましたが、徐々に自分たちの動きを取り戻していました。結果は残念でしたが、三年間の練習の成果を出せた熱い試合でした。



○柔道部

横山 典幸

今年は強いぞ!! 沓中柔道部女子。団体戦、優勝おめでとうございませう。愛日地区の各支所大会の予選を勝ち抜いた大勢の選手たちによる熱戦が繰り広げられた。

団体戦は三年生により構成され、他校を寄せ付けない強さで優勝という素晴らしい結果となった。

個人戦では各階級がそれぞれ接戦であった。最後まで勝ち残った選手は、礼に始まり礼に終わる柔道の美しい所作を身に着けていたように感じた。

沓中柔道部員の大勢が県大会への切

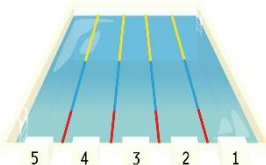
符を手にとること
ができた。県大会に
向けさらに強い信
念と代表という自
覚をもって練習に
励んでください。そ
して、指導し支えて
くださった先生方、
関係者の方々への
感謝の気持ちを忘
れないでください。
今後の活躍も期
待しています。



○水泳部

清國 和江

豊明中学校のプールサイドには各学
校の部員や先生、保護者が集まり、天気
が曇りという事で思ったより暑さはな
かったが、プールサイドはやはり暑い。
しかし、三年生最後の試合になるため
どこの学校も応援に熱くなっ
ていました。私も自分の息子が
出場した時も一生懸命応援し
ていました。部活の先輩、後輩、
同期みんなで力を合わせてい
てこんな時もあったなあ
と自身の若いころを思
い出し、感動しました。
結果はあまりよくなかっ
たようですが、子供たち
もそれぞれ良い体験、思
い出になったのではと思
いました。家事情ではあ
りますが、息子は六月終



わりに手首を骨折してしまい、大会五
日前にギプスを外せての参加でしたの
で泳ぎ終わるまで心配していましたた
が無事泳げてうれしく思いました。

山本 香奈

季節限定の部活でしたが、五月ごろ
からはじまり、夏の間ずっと毎日何km
もへとへとになるまで泳いで夏の支所
大会に向かつてみんな練習してきたと
思います。大会ではほぼ全員が選手と
なり最後まで諦めずがんばってゴール
し、部員みんなで一生懸命応援してい
る姿を見て感動させられました。日々
指導してくださった顧問の先生方には
感謝いたします。ありがとうございます。

土田 瑞穂

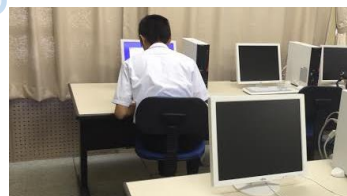
自分で入ると決めた水泳部。練習か
ら帰ってくるのとくたくたですぐ寝てし
まう日もありました。練習内容も十五
分ずつと泳ぐUP。手のみで泳ぐPull
足のみで泳ぐKick。手と足を使う
Swim。他ダッシュ等、その練習量に驚
きました。当日二百mの平泳ぎは練習
より十五秒も早くなりました。三年生
の先輩の姿を見て頑張ってきたことも
あり、今後下級生のいい先輩になっ
てほしいです。

○パソコン部

桑山 万里絵

三年間の締めくくり、パソコン検定
に合格した。毎日練習してきたタイピ
ングには目を見張るものがある。
明るく楽しそうなのパソコン部で顧

問の先生に優しく見守
られながら培ったこの
スキルは、部員の皆さ
んが今後どこへ行つて
も役立つものとなるに
違いありません。三年
間お疲れ様でした。



○吹奏楽部

石河 信子

愛知県吹奏楽コンクール東尾張地区
大会が開かれました。三年生にとつて
は最後の大会とな
りました。これまで

豊明市文化会館の
ホールを使って何
度も練習をして迎
えた本番でした。自
由曲「銀河鉄道」の
演奏は、みんなが心
を一つにし、迫力が
あり綺麗にそろっ
ていてとても感動
しました。そして見
事銀賞を取ること
ができました。当日
はあいにくの大雨
で楽器搬入やチュ
ーニングが大変だ
ったようですが、練
習の成果を出し切
ることができて本
当によかったと思
いました。





体育大会準備

準備練習 夏休み編

蒼炎天狼

蒼い炎のように
強くたくましく
輝く狼



獅子搏兔

ライオンがウサギを捕まえるときのようにどんな簡単なことも全力で



桃華桜豹

桃の花や桜のように人を魅了する演技をし、豹のように強くたくましく戦う



鳳雅焰乱

鳳凰のように美しく、炎のように乱れるように熱く



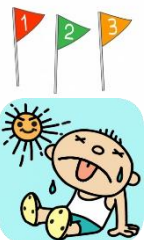
月煌狐美

煌く月の下九尾の遠吠えが響く



鷺獅橙王

鳥の王者、鷺のように飛び、百獣の王ライオンのように素早く走る。空と陸を支配して一番になる



豊明市家庭教育推進市民大会

文化会館で行われた大会の中で「少年の主張」において、沓中の二名の生徒の発表がありました。

自分の考えをしつかり述べているすばらしい発表でした。そのほか、二村台の木曜カフェアベリアの事例発表や豊明太鼓の演奏があり盛大な大会でした。



沓掛中学代表発表者

三年 小西萌加「七十億分の奇跡」

三年 高桑 碧「大切なこと」

教育対話集会

「笑」たのしい



教職員と保護者が多数参加し、今年度は、多治見市を中心に文字職人（めっせー字）として活躍中の杉浦誠司氏に講演いただきました。夢を抱く子供たちとともに、私たち大人も夢を語れる人でありましょう。

※是非、ホームページをご覧ください

<http://www.toyoake.ed.jp/kutsukake-1js/index.htm> PTA新聞「楠の木」

は沓中ホームページにカラーで掲載されています。ぜひご覧ください。

豊明市小中学校PTA

連絡協議会教育講演会

全国各地での講演や執筆活動などをされている宮本延春氏の「オール1先生からのメッセージ 子どもは夢・目標があれば変われるんだ」を演題とした講演を聴きました。



地域で大活躍 沓中生



地域では、災害時などの中学生の活躍や、稀薄になりがちな地域と中学生とのつながりが求められています。この夏、それぞれの地区でたくさんの方の活動に地域からたくさんの感謝の声が寄せられました。

編集後記

発行にあたり、たくさんの方の原稿をお寄せいただきありがとうございました。辛い時も嬉しい時も、子供の背中を見つめてきた、愛情溢れる保護者の皆様に感謝いたします。

広報部一同